

かんてつ 通信 貫徹

12月 定例議会報告

No. 42



徹する力。

藤沢市議会議員
おおや 徹

発行日
2020年1月
発行者
藤沢市議会議員
大矢 徹 (おおや とおる)
連絡先
藤沢市鶴沼藤が谷 4-17-5
~302
【自宅】0466-47-8255
【携帯】090-8850-6062
【メール】ohya.toru@gmail.com
ホームページ
<http://www.ohyatoru.com>

年頭に あたって



穏やかな天候に恵まれ、新たな年を希望に満ち、元気一杯で迎えられたことと存じます。昨年は、皆様のご支援により3期目の当選を果たすことができました。今後も、初心を忘れず、謙虚な気持ちで、市民の皆さんが望む市政運営となるよう活動していきたいと思っております。

正月恒例の箱根駅伝では、青山学院大学が大会新記録で2年ぶり5度目の優勝を果たしました。母校の日本大学は見せ場なく、総合順位は18位と残念ながらシード権を逃しました。また、日大藤沢高校が全国高校サッカー選手権に出場しましたが、惜しくも3回戦で敗退。来年は、駅伝、サッカーともさらなる躍進に期待です。

12月議会内容

12月2日から12月20日まで、12月定例議会が開催されました。主な内容は、名誉市民の選定、指定管理者の指定、藤沢市自転車等駐車場条例の一部改正、令和元年度藤沢市一般会計補正予算などです。

なお、補正額は、一般会計が6億7,047万2千円で、補正後の一般会計は、1,530億8,734万8千円、特別会計が4億3,844万4千円で、補正後の特別会計は、1,206億1,195万7千円となり、一般会計と特別会計の総額は、2,736億9,930万5千円となります。



今年は、2月16日投開票で、藤沢市長選挙が行われます。鈴木市長の2期8年間の実績、私の出身組織であります、湘南地域連合の政策・制度要求に対する真摯な対応、重要事業の継続性などを踏まえ、鈴木市長の再選に向けて積極的に支援することとしましたので、ご理解をお願いします。

1. 「吉野 彰」氏を藤沢市名誉市民に選定

昨年ノーベル化学賞を受賞した、藤沢市在住の「吉野 彰」氏が藤沢市名誉市民に選定されました。合わせて、1月30日に市民会館で開催される、名誉市民顕彰式に係る経費も補正予算案に計上され、可決されました。藤沢市民からノーベル賞の受賞者が出たことを私も誇りに思います。

2. 市民会館の再整備について ~11/29特別委員会報告~

市民会館等再整備事業に向けて、これまでの取り組み状況、今後のスケジュール等が報告されました。

【これまでの取り組み状況】

①市民ワークショップ

市内在住・在勤の方で、ともに参加いただけることを基本に公募し、応募者28人3班体制でのワークショップを今年度中に計4回(当初予定は5回)開催する予定です。

②中高生を対象としたワークショップ

8月21日に中高生を対象としたワークショップを行いました。参加者は中学生1人、高校生7人の計8人で、軽音楽等のライブができるスタジオが欲しい、歌舞伎や落語など伝統芸能を体験でき

る場所として欲しい、いつでも自由に使える自習室が欲しい等様々な意見・要望があげられました。

③サウンディング調査

国及び市においてサウンディング調査(市有地などの活用方法について、民間事業者から広く意見、提案を求め、「対話」を通じて市場性等を把握する調査)が実施され、市独自の調査については、11月12日~15日に開催した意見交換に26社の参加を得て、多くの意見や提案等を受けました。

国及び市の調査結果については、今後、藤沢市のホームページで公表を予定しています(2020年1月段階で公表済み)。

【今後のスケジュール(予定)】

令和2年度 基本構想
令和3年度 基本計画
令和4年度 基本設計
令和5年度 実施設計
令和6年度 解体工事
令和7年度~8年度 建設工事
令和9年度 供用開始

※なお、令和4年度以降のスケジュールは、直営方式による場合です。

3. 子ども・子育て支援に関する事業計画について

子ども・子育て支援法で計画策定が義務付けられている各計画について、その素案が報告されました。

【藤沢市保育所整備計画(ガイドライン)】

藤沢市では、保育所整備計画(ガイドライン)を策定し、その計画以上の定員拡大を図ってきましたが、現在策定中のガイドラインでは、5年間で認可保育所整備により1,750人、小規模保育事業により228人の定員拡大を図る予定です。さらに、既存保育施設を活用した1~2歳児の受け皿確保などを検討しています。

【病児・病後児保育事業】

現在、市内3箇所の法人立認可保育所及び西南地区の企業主導型保育事業において、病後児保育事業を実施しています。

病児保育事業については、現状では実施施設はありませんが、再整備を進めている藤が岡保育園において、令和3年6月からの開始を予定しています。さらに、北部地区で小児科クリニックからの提案により、令和2年10月頃の開始に向けた調整を進めています。この他、病後児保育から病児保育への移行を検討している施設もあり、必要な整備に向けて検討・調整をしていきます。

【第2期放課後児童クラブ整備計画】

利用希望把握調査の結果、児童推計、待機児童者数をもとに、5ヶ年で13クラブを整備し、339人の定員増を図る予定としています。具体的には、天神小学校区において、定員60人規模の放課後児童クラブ、放課後等デイサービス、障がい児者一時預かり施設を令和2年4月1日に開所を予定しています。令和3年4月開所に向けては、3~4小学校区で設置運営事業者の公募を実施していきます。

【(仮称)藤沢市共育(ともいく)計画】

「子どもの貧困対策の推進に関する法律」に基づき、子どもの貧困対策の実施計画である、「(仮称)藤沢市子ども共育(ともいく)計画」を策定します。なお、計画期間は、令和2年度から5ヶ年とし、「だれひとり取り残さないあたたかい地域共生社会の実現に向けて」をめざす方向性として施策を推進します。特に「子どもの自己肯定感」については、実態調査のアンケート調査において、中学2年生の約50%が自分のことが好きだとは「あまり

思わない」「思わない」と回答していることから、自己肯定感を高めることを指標として考えています。

【地域子どもの家・児童館の運営方法の検討】

地域子どもの家・児童館における飲食、開館時間の延長、学校から直接来館するランドセル来館について、課題を検証した上で、新たな取り組みの検討を行います。なお、令和3年4月に開所を予定している(仮称)「大道子どもの家」において、運営方法の拡充について試行的に取り組んでいきます。

4. 議会史編さんについて

議会史については、市制町村制以降の藤沢町会・市会・市議会と時代の変遷に従い展開された行政を背景として、議会活動・住民運動等を客観的に記述し後世に遺すべく、これまで市制施行の節目の年にあわせて昭和45年、平成2年の2度にわたり「藤沢市議会史」が編さんされてきました。この度、市制施行80周年を節目として、議会史の編さんが検討されています。今議会に、議会史編さんに係る経費について、2020年度予算に計上しないよう求める陳情が出されました。その理由は、議事録はネットで検索が可能なこと、約1億7,000万円の予算に見合った必要性が感じられないなどです。

私の考え

議会史は、議事録ではなくその時々議会における特徴的な取り組みについて、学識者が議事録も含めて編さんするもので、議事録で代用することはできないと思います。ただ、約1億7,000万円の予算については、現実的には当然もっと圧縮できるもので、議会としても予算の縮減をしていく必要があります。

議会史の意義は、例えば、善行6丁目の土地の問題が100条委員会に至った経過や、その後の土地開発公社における先行取得のルールがどうなったとか、また、堆肥化センターはなぜ中止になり、その後畜産事業者へどのような影響を与えたのかなど、今後、議会として繰り返さないためにも、必要な教訓として活用されるべきものです。

従って、今必要なものではなく、将来的に何か大きな問題が起きた時、議会史から得た教訓を議員各々がしっかりと捉えた上で、最善な判断を行うために必要なものだと思います。費用対効果は、現職議員、将来の議員が、どう活用するかの問題だと考えます。



屋メシ
放浪記

栄華
栄華ラーメン



今回紹介するのは、辻堂にある、街の中華屋さん「栄華」。このラーメンも昔懐かしい昭和のラーメンといった感じです。ただ、場所が分かりにくい。また、そんなところも好きなのですが(^-^);

おおや 徹ホームページのご案内

時事問題や趣味の食べ歩きを活かしたコラムなど、写真も多く掲載しながら書き綴っています。

「大盛り・セット食べません」シリーズも継続中。こちらの進捗も期待してください。

議会情報もダイジェストで素早くアップしています。

是非ご覧ください！

おおや 徹

検索



もしくは

クリック!



QRコード